

地方航空路線活性化プログラムに係る 取組の効果検証に関する報告

平成28年度取組及び総括報告

平成29年3月13日

のと里山空港利用促進協議会(事務局:石川県企画振興部空港企画課)

能登～羽田路線(全日本空輸)

「能登ー羽田路線持続化プログラム

～地方空港の課題に対応した新たな航空需要の創造～」

I 能登＝羽田路線に係る取組実績概要

1. 平成28年度の目標及び課題

○取組目標・ターゲット(活プロ事業)

当初:トータルで搭乗率+3%(利用者増7,350人/年)



H28:トータルで搭乗率+3%を継続

➤ 約3,500人/半年を実現し、安定的な路線維持を図る。

課題1:航空需要の掘り起こし

- 中長期的に空港の更なる活性化を図るためには、能登の地域資源に関心を示す層に対する能登ならではの素材・体験を組み込んだ旅行や首都圏以外からの航空利用の誘客により、新たな需要を喚起していくことが必要。

→取組方針:社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出
羽田空港のネットワークを活用した広域乗継

課題2:北陸新幹線等との連携

- 新幹線開業後、首都圏から北陸への入り込みは増加したが、必ずしも航空利用の増加には繋がっていない。航空分担率低下の中、今後の路線維持に向けては、新幹線&航空による旅行モデルの構築が必須。

→取組方針:新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進
広域レンタカーの利用促進

課題3:二次交通による利便性確保

- 公共交通網が脆弱な能登半島では二次交通の役割が極めて重要であり、旅客のニーズに応じた二次交通を提供し、誘客促進に取り組む。

→取組方針:公共交通利用の周遊旅行による需要喚起

活プロ終了後の事業継続に向け、地域の体制づくりに取り組み、協議会予算に反映

2. 平成28年度の実績概要及び目標の達成状況

| 取組内容 | | | 目標 (半年) | 実績 H28夏ダイヤ | 達成状況 | |
|--------------|------------------------|--|-----------------------------|------------------------------|------|--------------------------------|
| | | | 約3,500人 (搭乗率+3%) | 4,287人 (搭乗率+3.0%) | ○ | トータルで搭乗率+3%を達成 |
| 航空需要の掘り起こし | 社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出 | 社会人、大学生、在日外国人を対象に能登の地域資源を体験するツアーを実施 | 400人 | 385人 | ○ | ツアー6回実施(前年4回) 満足度は95%と非常に高い |
| | 羽田空港のネットワークを活用した広域乗継 | 九州、四国等から能登への羽田乗継商品の造成を支援 | 400人 | 224人 | △ | 乗継の認知度はまだ低い |
| 北陸新幹線等との連携 | 新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進 | 団体向け:貸切バス利用助成 個人向け:片道新幹線旅行商品造成支援 | 750人 | 1,899人 | ○ | 団体・個人に直接アプローチすることで、実績につながった |
| | 広域レンタカーの利用促進 | 金沢駅:キャッシュバックキャンペーン 小松空港:組込旅行商品の造成支援 | 900人 | 1,296人 | ○ | キャッシュバックキャンペーンが浸透 組込旅行商品も好評 |
| 二次交通による利便性確保 | 公共交通利用の周遊旅行による需要喚起 | ふるさとタクシー付き旅行商品の造成を支援 | 1,050人 | 483人 | △ | 分かりやすい仕組みとなったが、夏場の利用は弱め |

II 能登＝羽田路線に係る取組の効果検証

1. 平成28年度 各取組の効果検証(実効性)

(1) 社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出【取組費用 295万円】

1. 取組の実施概要

(1) 社会活動体験ツアー【201万円】

- ・社会的活動に関心の高い層(社会人・大学生)向けに、通常の観光コースではなく、日本遺産キリコ祭りや、山菜収穫、能登ふぐはえ縄漁体験など、能登の里山里海を活かしたプログラム等を盛り込む

(2) 能登体験モデルツアー【94万円】

- ・首都圏在住外国人を対象に、能登の地域資源(酒蔵、輪島塗等)を体験するモニターツアーを実施
- ・丸の内朝大学考案の体験ツアーを実施

【H28改善ポイント】・新たなメニューを組み込み、ツアー回数を増加(H26:2回、H27:4回、H28:6回)
 ・地域ネットワークを構築し、活プロ終了後も協議会予算で継続できる仕組みづくりに取り組む

2. 実施・連携体制

- 協議会、関係市町 …… ツアー企画・全体調整、ツアーアテンド
- 旅行会社 …… 商品造成・販売
- 体験受入機関 …… プログラム企画、受入体制づくり

3. 取組の成果・効果及び結果の要因分析

航空利用者数(H28夏ダイヤ期間)【目標】H28:400席 → 【結果】385席

| (1) 社会活動型ツアー | (2) 能登体験モデルツアー |
|-------------------|---------------------|
| 参加者数: 130席 | 参加者数: 255席 |
| 社会人: 4回 50人(100席) | モデルツアー: 1回 22人(44席) |
| 大学生: 1回 15人(30席) | 朝大学関連: 211席 |
| アンケート満足度 92% | アンケート満足度 82% |
| リピート意向 98% | リピート意向 86% |



・参加者の満足度は非常に高い
 → 物見遊山とは違う体験や、都会にはない日本らしさなどが高評価
 ・旅行会社に一定の補助を実施
 → 参加者負担が抑えられ、集客は概ね順調
 (要因)リピーターや、リピーターからの口コミでの集客も実績につながった。
 (アンケート: 口コミによる参加32%)

4. 取組実績・内容に対する自己評価(継続性・モデル性)

多人数、高頻度の催行は困難ではあるが、能登の魅力を発信し、リピーターに繋げることに有効。体験メニューを蓄積。協議会のコーディネートにより、関係市町や受入機関等の地域ネットワークの協力を得ることで、事業の継続は可能。



能登のキリコ祭り体験(大学生)



能登ふぐはえ縄漁体験(社会人)

II 能登＝羽田路線に係る取組の効果検証

1. 平成28年度 各取組の効果検証(実効性)

(2) 羽田空港のネットワークを活用した広域乗継【取組費用 116万円】

- 1. 取組の実施概要** 羽田空港での乗継を活用し、首都圏以外の地域へ集客域を拡大・九州、四国等から能登への羽田乗継旅行商品の造成を支援
- 2. 実施・連携体制**
 - 協議会 … 旅行会社との調整、現地出向宣伝
 - 旅行会社 … 商品造成、販売
 - 航空会社 … 対象エリアの検討、現地旅行会社の斡旋



3. 取組の成果・効果及び結果の要因分析 航空利用者数(H28夏ダイヤ期間)【目標】H28:400席 → 【結果】224席

H28実績:2商品、224席(四国 34席・九州 190席)
 利用意向:88% 満足度:74% リピート意向:80%

→

・四国、九州からの乗継旅行商品が徐々に定着
 (要因)伊丹、中部を利用する先入観が強く、乗継の認知度はまだ低い

4. 取組実績・内容に対する自己評価(継続性・モデル性)
 航空乗継利用促進協議会の活動も通じ、乗継の認知度向上に地道に取り組むことが必要。

(3) 新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進【取組費用 1,299万円】

- 1. 取組の実施概要**
 - ①(団体向け) 県内周遊観光する団体の貸切バス代を助成し利用を促進【176万円】
 - ②(個人向け) " 旅行商品の造成を支援し、個人利用を誘客【1,123万円】

【H28改善ポイント】金沢駅～空港間の定期観光バスの運行支援を見直し、団体・個人それぞれに直接働きかける
- 2. 実施・連携体制**
 - 協議会 … (団体向け)旅行会社へPR (個人向け)旅行会社との調整
 - 旅行会社 … 利用者へコース提案 商品造成、販売
 - 東京事務所 … 旅行会社各支店へPR



3. 取組の成果・効果及び結果の要因分析 航空利用者数(H28夏ダイヤ期間)【目標】H28:750席 → 【結果】1,899席

H28実績:(団体向け) 35団体、1,170席
 (個人向け) 4商品、729席
 利用意向:86% 満足度:83% リピート意向:79%

→

・貸切バス助成は、団体旅行のニーズと合致
 ・片道利用商品は交通費が割高となる傾向
 (要因)新幹線開業2年目となり新幹線乗車に対する付加価値は縮小傾向

4. 取組実績・内容に対する自己評価(継続性・モデル性)
 団体向けは、旅行会社が利用者に直接コース提案を行うため、効果的な周知が可能。
 一方、個人向けは、需要は十分あると考えるが、価格面で魅力のある商品造成に向け、今後の継続には、JRの協力が必要。

II 能登＝羽田路線に係る取組の効果検証

1. 平成28年度 各取組の効果検証(実効性)

(4) 広域レンタカーの利用促進【取組費用 470万円】

- 1. 取組の実施概要** 新幹線(金沢駅等)や小松空港を利用して来県する旅行者を能登へ誘引し空港利用を拡大
 ①レンタカーキャッシュバックキャンペーン:料金の一部助成(改善:金沢に特化)【97万円】
 ②レンタカー組込旅行商品の造成を支援:小松空港⇄のと里山空港【373万円】
- 2. 実施・連携体制**
 ○協議会 …… ①助成スキーム検討、PR ②旅行会社との調整
 ○その他関係機関 …… レンタカー会社:利用案内 旅行会社:商品造成、販売
 同盟会:助成手続



3. 取組の成果・効果及び結果の要因分析 航空利用者数(H28夏ダイヤ期間)【目標】H28:900席 → 【結果】1,294席

H28実績:①487件、417席 利用意向:39%
 ② 8商品、879席
 利用意向:100% 満足度:92% リピート意向:96%



・キャンペーンが浸透し、広域のレンタカー利用は拡大
 ・レンタカー組込の旅行商品も好評
 (要因)石川県を広域に旅行するニーズは高い

4. 取組実績・内容に対する自己評価(継続性・モデル性)

石川県の広域周遊のニーズとマッチ。継続することで、定着化が図れていくものと考えている。

(5) 公共交通利用の周遊旅行による需要喚起【取組費用 1,020万円】

- 1. 取組の実施概要** 公共交通(タクシー)を活用し、能登地域内の観光利便性を向上
 ・ふるさとタクシー(乗合送迎タクシー)付き旅行商品の造成を支援
【H28改善ポイント】ふるさとタクシーと観光タクシー接続利用のキャッシュバックを見直し、分かりやすい仕組みに



- 2. 実施・連携体制**
 ○協議会 …… 旅行会社との調整
 ○旅行会社 …… タクシー会社との調整、商品造成、販売
 ○タクシー会社 …… ふるさとタクシーの運行、観光タクシーPR

3. 取組の成果・効果及び結果の要因分析 航空利用者数(H28夏ダイヤ期間)【目標】H28:1,050席 → 【結果】483席

H28実績:5商品、483席
 利用意向:57% 満足度:52% リピート意向:76%



・ふるさとタクシー全体の利用は減少が続いているが、旅行商品組込により、直接の利用増に寄与。
 (要因)夏場はふるさとタクシーのニーズが弱い(旅行会社より)

4. 取組実績・内容に対する自己評価(継続性・モデル性)

冬場にふるさとタクシー利用の需要が高まるため、協議会予算で3月まで取り組みを継続して実施。

II 能登＝羽田路線に係る取組の効果検証

2. 実施・連携体制(継続性)

(1) 体制の全体図

【凡例】

黒字・・・既存の連携

赤字・・・本プログラムをきっかけに新たに連携構築

青字・・・本プログラム途中段階で連携構築

| 社会活動型 | 羽田乗継 | 新幹線連携 | 広域レンタカー | 公共交通 |
|---|---|---|---|--|
| 協議会事務局 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー企画 ・体験受入機関との調整 ・情報発信 ・ツアーアテンド ・全体調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との調整 ・現地出向宣伝 | <ul style="list-style-type: none"> ・助成スキーム検討 ・旅行会社との調整 ・PR | <ul style="list-style-type: none"> ・助成スキーム検討 ・PR、全体調整 ・旅行会社との調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との調整 ・PR |
| 旅行会社 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・商品造成、販売 ・在住外国人への告知(H28～) | <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社 ・商品造成、販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・商品造成、販売 ・団体客へコース提案(H28～) | <ul style="list-style-type: none"> ・商品造成、販売(H28～) | <ul style="list-style-type: none"> ・商品造成、販売(H28～) |
| その他関係機関 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大学生協 ・情報発信、募集 ・体験受入機関 ・プログラム企画、受入体制づくり ・県出先機関・関係市町 ・プログラム企画 ・体験受入機関との調整 ・ツアーアテンド | <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社 ・対象エリアの検討 ・現地旅行会社の斡旋 | <ul style="list-style-type: none"> ・県東京事務所 ・旅行会社各支店、団体客へのPR(H28～) | <ul style="list-style-type: none"> ・レンタカー協会 ・県内事業者への協力要請 ・レンタカー会社 ・PR、利用案内 ・同盟会 ・助成手続、PR、アンケート | <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社 ・予約受付 ・観光に関するPR |

(2) 自己評価

- ・H26、27の取組を踏まえ、H28は、ターゲットに直接働きかけられる体制に一部見直し。
- ・現体制の下、事業の継続は可能だが、予算の確保が課題。
- ・**各取り組みの定着化を図っていく段階であり、H29年度以降も、協議会予算を確保し事業継続に取り組む。**(予定)

Ⅲ 能登＝羽田路線に係る本プロジェクトの成果・評価

1. 3年間の取組実績概要

- 新幹線開業やNHK連続テレビ小説「まれ」の放映により、石川・能登がメディアに採りあげられる機会が増えたことから、能登の認知度が向上したことが後押し
- H26、H27の取組を検証し、個人や団体それぞれのターゲットに直接働きかける方法に改善 ⇒ **H28目標「トータルで搭乗率+3%」を達成**

【改善した取組】金沢駅～のと里山空港間の定期観光バス → 団体向け貸切バス助成、個人向け片道新幹線旅行商品の造成
 レンタカーキャッシュバックキャンペーン → キャンペーンは伸びが大きい金沢に特化
 片道小松空港利用の旅行商品の造成
 乗合・観光タクシー接続利用キャッシュバックキャンペーン → ふるさとタクシー付き旅行商品の造成

取組実績

| | | | H26冬 | H27夏・冬 | H28夏 |
|--------------|------------------------|--------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 航空需要の掘り起こし | 社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出 | | 238人 | 409人 | 385人 |
| | 羽田空港のネットワークを活用した広域乗継 | | 525人 | 303人 | 224人 |
| 北陸新幹線等との連携 | 新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進 | 定期観光バス | 161人 | 186人 | — |
| | | 団体旅行貸切バス助成 | — | — | 1,170人 |
| | | 片道新幹線旅行商品 | — | — | 729人 |
| | 広域レンタカーの利用促進 | レンタカーキャッシュバック | 163人 | 755人 | 417人 |
| レンタカー組込旅行商品 | | — | — | 879人 | |
| 二次交通による利便性確保 | 公共交通利用の周遊旅行喚起 | 乗合・観光タクシー接続利用キャッシュバック | — | — | — |
| | | ふるさとタクシー(乗合送迎タクシー)組込旅行商品 | — | — | 483人 |
| 合計 | | | 1,087人 | 1,653人 | 4,287人 |
| 搭乗率 | | | 0.9%増 | 0.7%増 | 3.0%増 |

**H26目標：搭乗率0.8%増
実績： " 0.9%増**

**H27目標：搭乗率1.8%増
実績： " 0.7%増**

**H28目標：搭乗率3.0%増
実績： " 3.0%増**

【参考】能登－羽田路線実績

| | (平成25年度) | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----|----------|----------|----------|---------|
| 旅客数 | 149,656人 | 144,422人 | 152,672人 | 81,694人 |
| 搭乗率 | 63.6% | 61.2% | 63.5% | 67.7% |

注：平成28年度の実績は、4月～9月までの実績。

| | 10年目 | 11年目 | 12年目 | 13年目 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 搭乗率 | 63.2% | 62.7% | 63.6% | 63.7% |

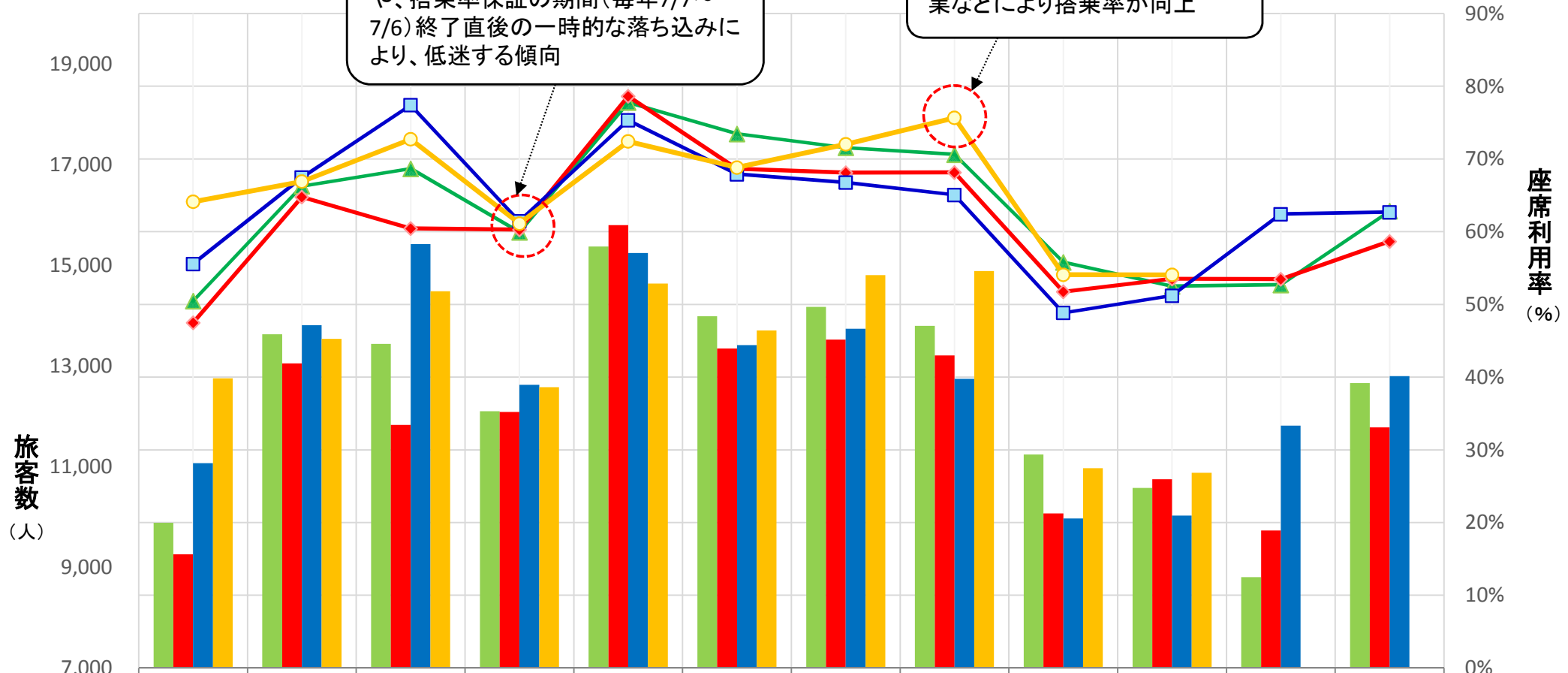
注：搭乗率保証制度(目標62%)
年目の期間は7/7～翌年7/6

Ⅲ 能登＝羽田路線に係る本プロジェクトの成果・評価

2. 3年間の旅客数・座席利用率

毎年、7月は、夏休み前の旅行控えや、搭乗率保証の期間(毎年7/7～7/6)終了直後の一時的な落ち込みにより、低迷する傾向

新たな旅行商品投入、活プロ事業などにより搭乗率が向上



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 旅客数(H25) | 9,882 | 13,630 | 13,437 | 12,100 | 15,372 | 13,988 | 14,171 | 13,797 | 11,242 | 10,576 | 8,804 | 12,657 |
| 旅客数(H26) | 9,259 | 13,052 | 11,827 | 12,086 | 15,796 | 13,345 | 13,522 | 13,206 | 10,072 | 10,746 | 9,729 | 11,782 |
| 旅客数(H27) | 11,068 | 13,811 | 15,419 | 12,626 | 15,243 | 13,413 | 13,739 | 12,743 | 9,971 | 10,029 | 11,812 | 12,798 |
| 旅客数(H28) | 12,752 | 13,538 | 14,485 | 12,577 | 14,635 | 13,707 | 14,802 | 14,884 | 10,967 | 10,877 | | |
| 搭乗率(H25) | 50.5% | 66.3% | 68.7% | 59.9% | 77.8% | 73.5% | 71.6% | 70.6% | 55.8% | 52.5% | 52.7% | 62.8% |
| 搭乗率(H26) | 47.5% | 64.8% | 60.4% | 60.3% | 78.6% | 68.7% | 68.1% | 68.1% | 51.8% | 53.5% | 53.5% | 58.7% |
| 搭乗率(H27) | 55.6% | 67.5% | 77.4% | 61.4% | 75.3% | 67.9% | 66.8% | 65.1% | 48.8% | 51.2% | 62.4% | 62.7% |
| 搭乗率(H28) | 64.1% | 66.9% | 72.7% | 61.1% | 72.4% | 68.8% | 72.0% | 75.7% | 54.1% | 54.1% | | |

H26冬実証調査
(搭乗率0.9%増)

H27実証調査
(搭乗率0.7%増)

H28夏実証調査
(搭乗率3.0%増)

Ⅲ 能登＝羽田路線に係る本プロジェクトの成果・評価

3. 本プロジェクトによる路線維持活性化等に係る成果・効果

【社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出】

- ✓ 体験ツアーを実施するにあたり、毎回新たな体験受入機関と企画、調整を行うことで、**地域ネットワークが更に拡大した。**
⇒能登半島のうちごはん実行委員会、キリコ祭り珠洲蛸島区長会、奥能登原木しいたけ活性化協議会、能登ふぐ事業協同組合 など

- ✓ 能登のキリコ祭りは、体験ツアーを基礎に、一般の旅行商品としての販売にも結び付けることができた。

【羽田空港のネットワークを活用した広域乗継】

- ✓ 航空会社との連携により、**首都圏以外の旅行会社との協力体制を構築することができ、乗継商品も着実に浸透してきている。**

【新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進】

【広域レンタカーの利用促進】

- ✓ 北陸新幹線開業で大幅に増加した**金沢等への観光客を能登に誘引することができた。** ⇒実績3,193人の1日平均:約20人

【公共交通利用の周遊旅行による需要喚起】

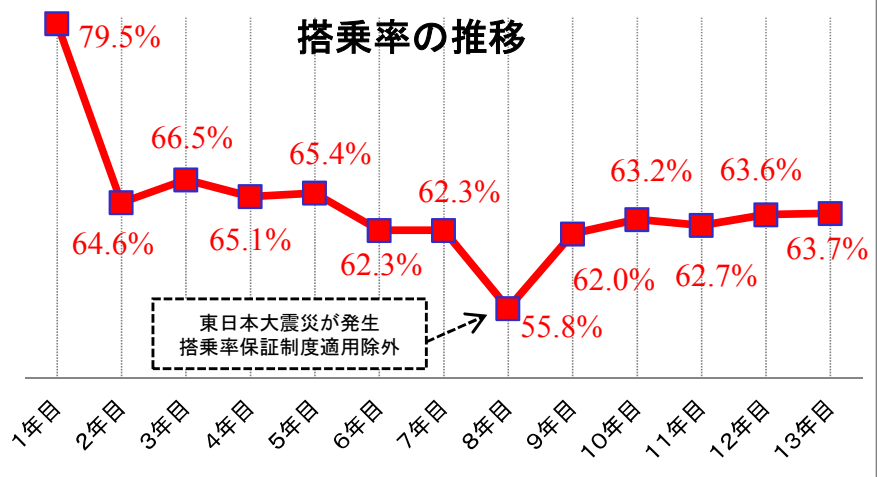
- ✓ 公共交通網が脆弱な能登半島では、二次交通の役割が極めて重要であり、航空路線維持とともに、**ふるさとタクシー(乗合送迎タクシー)の維持にも貢献している。**
⇒ふるさとタクシー利用者の7.4%



- **11年目～13年目の目標搭乗率62%を達成**
→ 能登＝羽田便の路線・便数維持
- **体験ツアー受入機関や、首都圏以外の旅行会社等とも連携体制を構築**
→ 利用促進に向けた連携が拡充

<能登＝羽田便(1日2便)の利用実績>

| 区分 | 使用機材 | 利用者 | 搭乗率 | 目標搭乗率 |
|-----------------|-----------|---------|-------|-------|
| 1年目 H15.7.7～ | B735 | 151,015 | 79.5% | 70% |
| 2年目 | B734 | 155,623 | 64.6% | 63% |
| 3年目 | A320 | 160,052 | 66.5% | 64% |
| 4年目 | A320 | 156,945 | 65.1% | 62% |
| 5年目 | A320 | 158,558 | 65.4% | 62% |
| 6年目 | A320/B738 | 150,365 | 62.3% | 62% |
| 7年目 | A320/B738 | 149,010 | 62.3% | 62% |
| 8年目 | A320/B738 | 132,698 | 55.8% | 62% |
| 9年目 | A320/B738 | 149,117 | 62.0% | 62% |
| 10年目 | A320/B738 | 150,542 | 63.2% | 62% |
| 11年目 | A320/B738 | 147,129 | 62.7% | 62% |
| 12年目 | A320/B738 | 150,712 | 63.6% | 62% |
| 13年目 | A320/B738 | 152,834 | 63.7% | 62% |

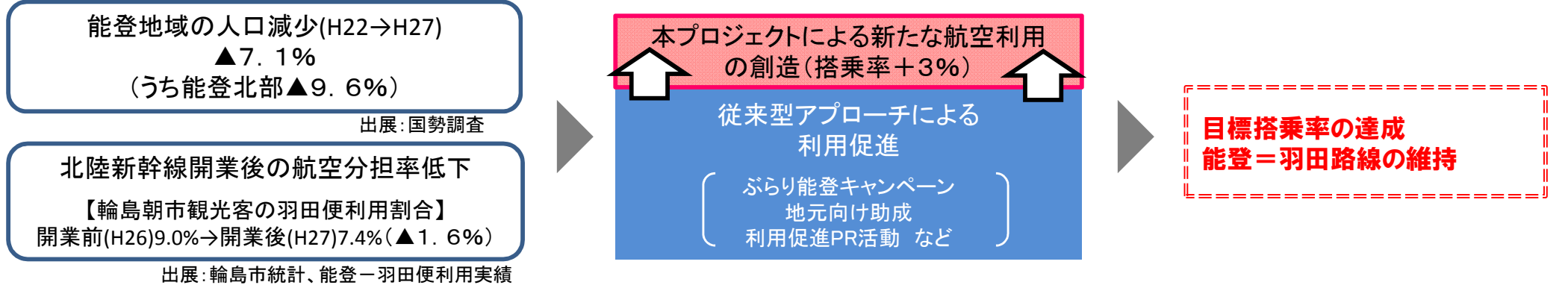


Ⅲ 能登＝羽田路線に係る本プロジェクトの成果・評価

4. 3年間のプロジェクトに対する総括

○本プロジェクト開始にあたっての課題

- 能登空港開港(H15年度)にあたり、羽田便の一日2便の就航を実現させるため、**航空会社の路線就航リスクを地方自治体でも分担する全国初のスキーム**として、「**搭乗率保証制度**」を導入し、運航を開始。
- 就航以来、**県・市町・経済界等が一体となってあらゆる利用促進**に取り組んでおり、航空会社との間で設定した**目標搭乗率を達成し、路線を維持**しているものの、今後本格化する**人口減少等の地域課題に対応した利用者確保策の確立**が急務。(従来型アプローチには伸びしろに限界がある。)



○総括評価

- 能登地域の人口減少、北陸新幹線開業による航空分担率低下という大きな環境変化の中、本プロジェクトを通じた新たな航空利用の創造に取り組み、**北陸新幹線開業で大きく増えた観光客を能登に誘引するなど、一定の成果をあげることが出来た。**
- 本プロジェクトによる搭乗率のプラスもあり、**能登＝羽田便の目標搭乗率を達成し続け、2便体制を維持**することが出来ている。
- 能登＝羽田路線はこれまでも地域を挙げて利用促進に取り組んできたが、各取組を通して、体験ツアー受入機関や首都圏以外の旅行会社など、**新たな連携体制の構築に加え、地域との連携が更に拡大した。**
- 能登地域の人口は今後も減少が見込まれており、**持続的な利用者確保に向け、取組を継続し、定着化を図っていくことが重要**と考える。

IV 能登＝羽田路線に係るプロジェクト終了後の展開方針

1. 結果・成果を踏まえた今後の路線維持・活性化に向けた方向性

各取組の定着化を図っていく段階であり、H29年度以降も、協議会予算を確保し本プロジェクトで実施した事業の継続に取り組む。(予定)

2. 路線維持・活性化に向けた取組目標

トータルで搭乗率+3%以上を継続
(利用者増7,350人/年)

3. 取組目標達成に向けた具体的な活動・展開(計画)案

1. 航空需要の掘り起こし

(1) 社会活動型観光プログラムによる空港利用の創出

- ・能登の魅力を発信し、リピーターに繋げることに有効な手法であり、協議会のコーディネートにより、関係市町や受入機関等のネットワークの協力を得て事業を継続。(年4回以上のツアー実施)
- ・地域のネットワーク作りも継続して取り組む。

(2) 羽田空港のネットワークを活用した広域乗継

- ・航空乗継利用促進協議会のキャンペーンとの連動等により効果拡大を図りながら、認知度向上に向け、四国・九州等からの商品造成を継続。

2. 北陸新幹線等との連携による誘客

(1) 新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進

- ・旅行会社との連携を深化させ、団体向け貸切バス助成のPRを強化。
- ・個人向け旅行商品造成では、JRとの連携を模索しつつ、片道新幹線利用の商品造成の継続に取り組む。

(2) 広域レンタカーの利用促進

- ・(金沢駅)キャッシュバックキャンペーン、(小松空港)組込旅行商品を継続。

3. 公共交通利用の周遊旅行による需要喚起

- ・年間を通したふるさとタクシー(乗合送迎タクシー)のPRと、需要が高まる冬場を中心に、組込旅行商品造成を継続。

社会活動体験ツアー



能登のキリコ祭り体験

片道新幹線・片道航空機旅行商品

レンタカーキャンペーンチラシ

ふるさとタクシーPRチラシ

| | | | | | | |
|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 能登 | 羽田 | 08:55 → 10:00 | 09:05 → 10:00 | のと | 10:55 → 12:00 | 羽田 |
| 能登 | 14:55 → 16:00 | 15:05 → 16:00 | のと | 16:30 → 17:35 | 羽田 | 17:35 |